

## 平成29年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 12

学校名 千葉県立生浜高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 安心・安全で、信頼される学校づくりを目指し、全・定併置の定時三部制高校としての強みを活かした学校づくりを推進する。 2 地域との連携及び異校種を含む他校との交流を推進し、内にも外にも風通しのよい学校環境づくりを推進する。	①分掌・年次で、全定一体の会議を効果的に実施し、重点目標・具体的取組や情報の共有化を図る。 ②地域行事・就職先企業や中学校等への訪問を活性化し、学校の特徴を理解してもらうとともに周知に努める。また、「生浜NOW」を筆頭に、ホームページの内容を充実させ更新頻度を増やす。 ③袖ヶ浦特別支援学校・生浜西小学校との交流を継続・充実させるとともに、地域活動や地域防犯にも生徒を主体とした形で協力する。	①重点目標の達成に向け、全定の協働的・組織的活動ができたか、その成果は十分であったか。関係項目のアンケート評価で90%以上の肯定的回答を目指す。 ②毎日のホームページ更新を継続し、保護者の情報提供に関する肯定的評価を80%以上にする。 ③袖ヶ浦特支と生浜西小との交流をさらに活性化する。地域活動として美化運動を実施する。
学習指導	1 個に応じた指導により生徒の理解度を把握し、躓きを発見し、改善策をとることで基礎学力の定着を図る。 2 授業規律を確立し、生徒の『努力』を引き出す授業づくりを実践する。	①マナトレを実施し、成果等を分析することで、基礎学力の定着に資する。 ②芸術等一部の教科を除き、習熟度別授業、少人数授業を実施し、生徒各人の学習課題にできる限り対応していく体制を作る。 ③授業公開や相互の授業研究、管理職による授業観察及び面談、教員・生徒・保護者・地域を対象としたアンケートを行う。 ④定期考査前等に補講を定期的かつ組織的に実施し、生徒の授業内容についての理解度を確認し、生徒個々の学習の躓きの解消に努める。	①生徒・職員対象のアンケートの関連項目において、肯定的評価を5ポイント上げる。 ②・③生徒・職員の評価用アンケートにおける学習関連項目について、90%の肯定的回答を目指す。 ③授業公開、観察の回数を年間3回以上とする。 ④講座受講生徒対象のアンケート調査で関係項目において肯定的回答90%を目指す。
生徒指導	1 基本的生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性を育むため、節度ある学校風土の醸成を目指し、全ての教育活動を通じて、『協調性』と『生きる力』を育む。 2 教育相談の充実を目指し、生徒・保護者の要望を把握した共感的指導をチームで取り組む体制のもと、継続的に展開する。	①全職員の共通認識のもと、正門指導や再登校指導等を組織的に継続実施するとともに、保護者と連携を図ることで、社会に通用する規範意識の醸成に資する。 ②校外学習や全校集会、文化祭等の学校行事を活用し、集団における個人の役割と責任についての自覚を促すと同時に、思いやりや協調性等を育む。 ③当該担当教諭・養護教諭・スクールカウンセラー・教育相談部の職員等が連携し、情報の共有化を図る。また、個々の事例に対応するためのチームづくりやケース会議開催が可能となる柔軟な体制づくりを目指す。	①生徒指導の成果について、教員・生徒・保護者・地域によるアンケート評価で、それぞれ90%以上を目指す。 ②各行事における生徒の活動状況と行事終了後の反省・アンケート結果等を活用する。 ③教育相談等の対応について、生徒・保護者の評価をそれぞれ5ポイントアップさせる。個々の事例の対応状況やケース会議の開催状況を検討する。
キャリア教育	1 自己の「在り方・生き方」に対する関心を深めるとともに、望ましい職業観・勤労観を育成する。 2 主体的な進路選択を実現する。	①計画的に実施している上級学校や職場研究について、卒業生の講話等を取り入れ、一層の充実を図る。 ②夏季休業日を利用して、公共職業安定所等の関係機関と連携を図り、積極的な企業訪問やインターンシップを実施する。 ③ロングホームルームや総合的な学習の時間を計画的に活用し、年次ごとに系統的なキャリア教育・進路指導を展開する。	①キャリア教育に関する教員の自己評価について肯定的評価5ポイントアップを目指す。 ②インターンシップへの参加生徒数、企業数を増やす。 ③進路指導について生徒・保護者の満足度についてそれぞれ5ポイントアップさせる。

## 平成29年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 定3

学校名 千葉県立生浜高等学校

課程名 三部制の定時制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 安心・安全で、信頼される学校づくりを目指し、全・定併置の定時三部制高校としての強みを活かした学校づくりを推進する。 2 地域との連携及び異校種を含む他校との交流を推進し、内にも外にも風通しのよい学校環境づくりを推進する。	①分掌・年次で、全定一体の会議を効果的に実施し、重点目標・具体的取組や情報の共有化を図る。 ②地域行事・就職先企業や中学校等への訪問を活性化し、学校の特徴を理解してもらうとともに周知に努める。また、「生浜NOW」を筆頭に、ホームページの内容を充実させ更新頻度を増やす。 ③袖ヶ浦特別支援学校・生浜西小学校との交流を継続・充実させるとともに、地域活動や地域防犯にも生徒を主体とした形で協力する。	①重点目標の達成に向け、全定の共同的・組織的活動ができたか、その成果は十分であったか。関係項目のアンケート評価で90%以上の肯定的回答を目指す。 ②毎日のホームページ更新を継続し、保護者の情報提供に関する肯定的評価を80%以上にする。 ③袖ヶ浦特支と生浜西小との交流をさらに活性化する。地域活動として美化運動を実施する。
学習指導	1 個に応じた指導により、生徒の理解度を把握し、躰きを発見し、改善策をとることで基礎学力の定着を図る。 2 授業規律を確立し、生徒の『努力』を引き出す授業づくりを実践する。	①1年次においては、マナトレを活用し、成果等を分析することで、基礎学力の定着に資する。 ②数学、英語において少人数授業を実施し、生徒各人の学習課題にできうる限り対応していく体制を作る。 ③授業公開や相互の授業研究、管理職による授業観察及び面談、教員・生徒・保護者・地域を対象としたアンケートを行う。 ④日本語を母語としない生徒への対応として日本語講座等を開講し、学習時の支障の軽減を目指すとともに、受講生徒の学習意欲の向上、自尊意識の高揚に努める。	①生徒・職員対象のアンケートの関連項目において、肯定的評価を5ポイント上げる。 ②・③生徒・職員の評価用アンケートにおける学習関連項目について、90%の肯定的回答を目指す。 ③授業公開、観察の回数を年間3回以上とする。 ④講座受講生対象のアンケートにおける関係項目について肯定的回答90%を目指す。
生徒指導	1 基本的な生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性を育むため、節度ある学校風土の醸成を目指し、全ての教育活動を通じて、『協調性』と『生きる力』を育む。 2 教育相談の充実を目指し、生徒保護者の要望を把握した共感的指導をチームで取り組む体制のもと、継続的に展開する。	①全職員の共通認識のもと、正門指導や再登校指導等を組織的に継続実施するとともに、保護者と連携を図ることで、社会に通用する規範意識の醸成に資する。 ②校外学習や全校集会、文化祭等の学校行事を活用し、集団における個人の役割と責任についての自覚を促すとともに、思いやりや協調性等を育む。 ③当該担当教諭・養護教諭・スクールカウンセラー・教育相談部の職員等が連携し、情報の共有化を図る。また、個々の事例に対応するためのチームづくりやケース会議開催が可能となる柔軟な体制づくりを目指す。	①生徒指導の成果について、教員・生徒・保護者・地域によるアンケート評価で、それぞれ90%以上にする。 ②各行事における生徒の活動状況と行事終了後の反省・アンケート結果等を活用する。 ③教育相談等の対応について、生徒・保護者の評価をそれぞれ5ポイントアップさせる。個々の事例の対応状況やケース会議の開催状況を検討する。
キャリア教育	1 自己の「在り方・生き方」に対する関心を深めるとともに、望ましい職業観・勤労観の育成に努める。 2 主体的な進路選択を実現する。	①計画的に実施している上級学校や職場研究について、卒業生の講話等を取り入れ、一層の充実を図る。 ②夏季休業日を利用して、公共職業安定所等の関係機関と連携を図り、積極的な企業訪問やインターンシップを実施する。 ③ロングホームルームや総合的な学習の時間を計画的に活用し、年次ごとに系統的なキャリア教育・進路指導を展開する。	①キャリア教育に関する教員の自己評価について肯定的評価5ポイントアップを目指す。 ②インターンシップへの参加生徒数、企業数を増やす。 ③進路指導について生徒・保護者の満足度についてそれぞれ5ポイントアップさせる。